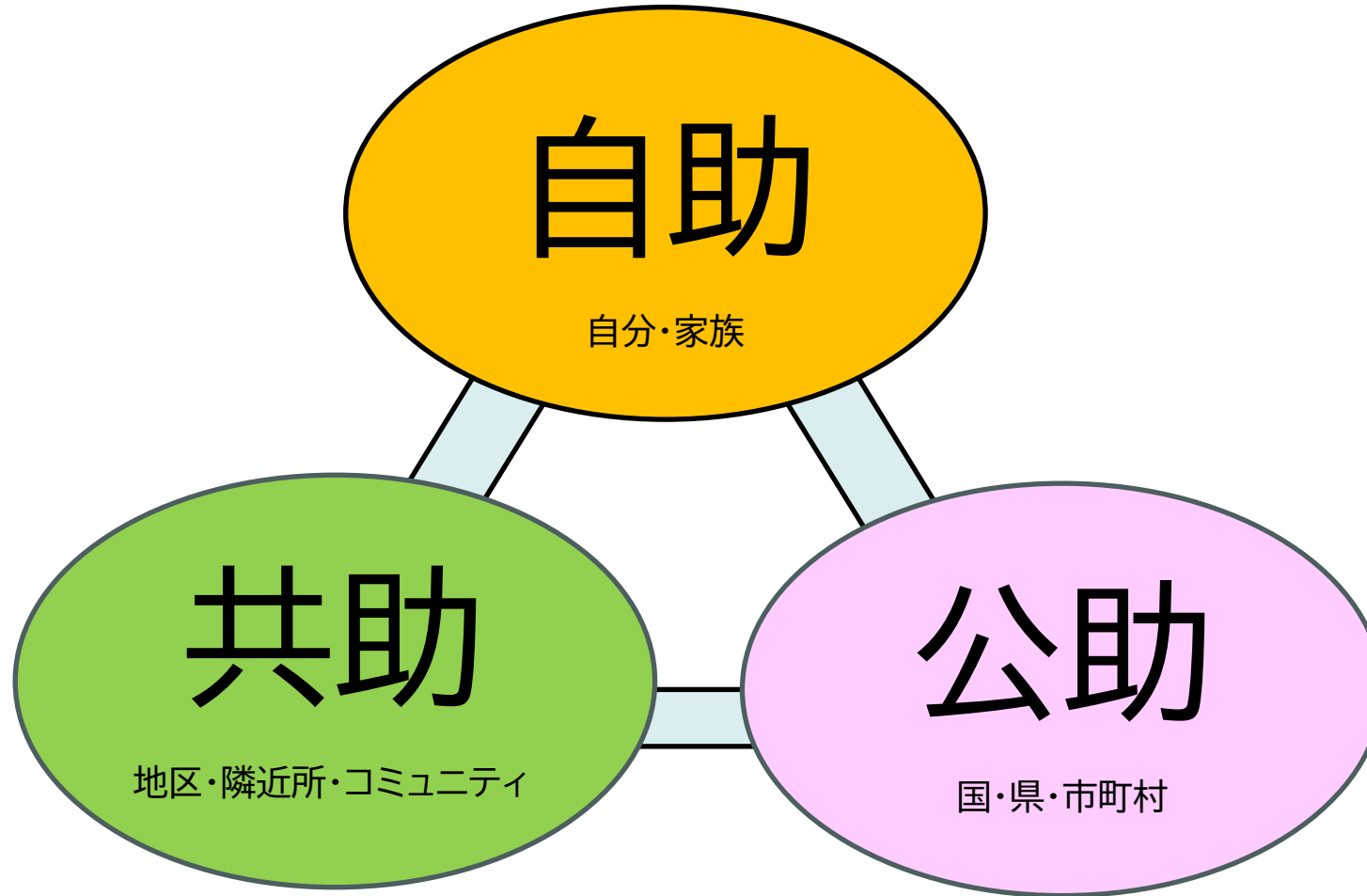


千曲川河川事務所より情報共有

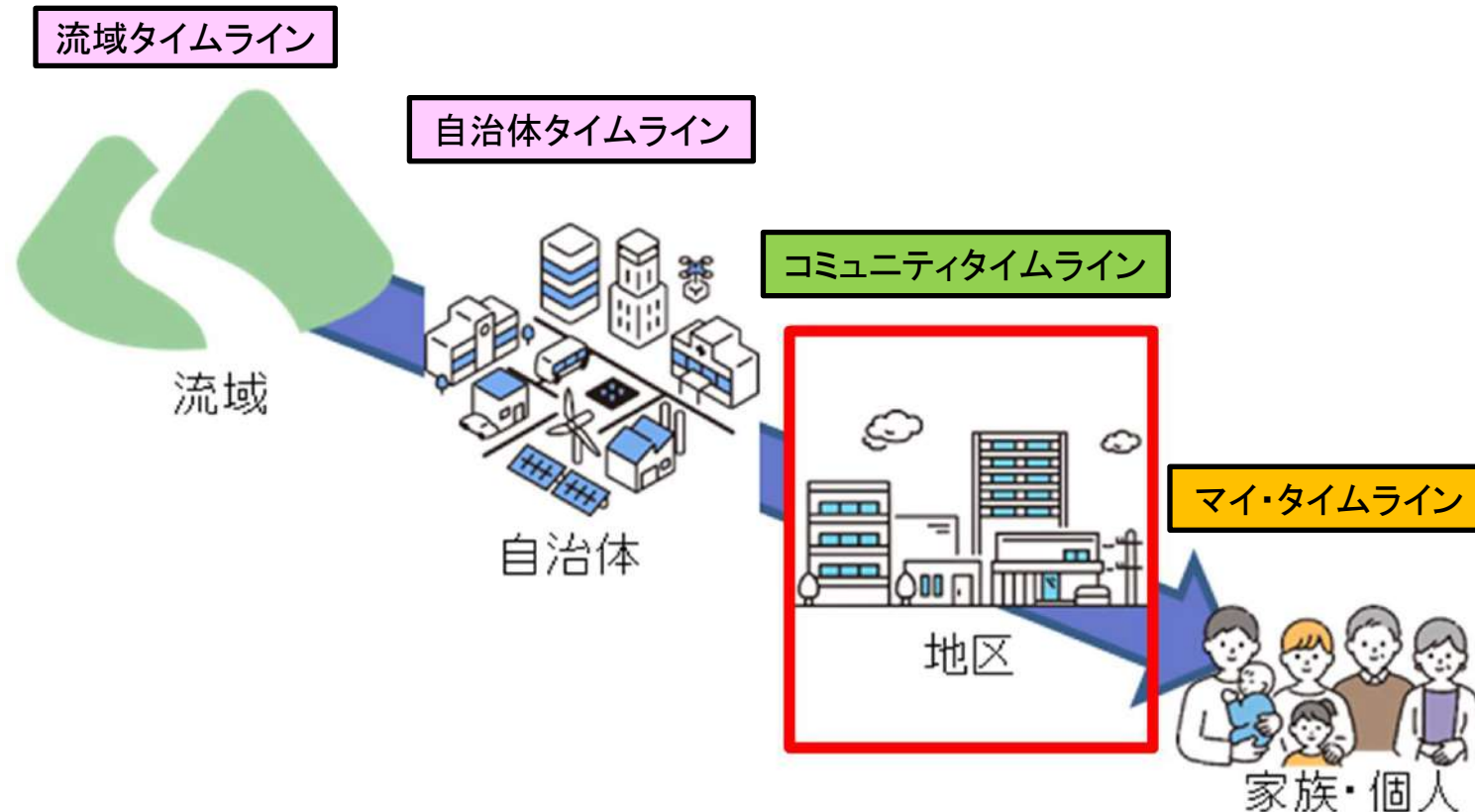


コミュニティタイムラインの普及促進に向けて

～早めの避難で「逃げ遅れゼロ」へ～



災害の被害を軽減するためには、「自助」「共助」「公助」それぞれが連携し、対応することがとても重要です。



■ コミュニティタイムライン（CTL）とは？

地区（コミュニティ）の事前防災行動計画（タイムライン）であり、地区役員（区長、副区長、各班長等）の水害時の防災行動を時系列に整理したもので、地区住民が安全に避難する「逃げ遅れゼロ」、「命を守る」ことを目的とするものです。

■コミュニティタイムラインがあると・・・

<いままでの対応>

緊急的な対応が多い

雨が降ってから対応開始
高齢者や住民へ声かけ・放送
住民避難
水防活動



注意喚起

要支援者への電話
要支援者の移送準備

避難指示・水防活動

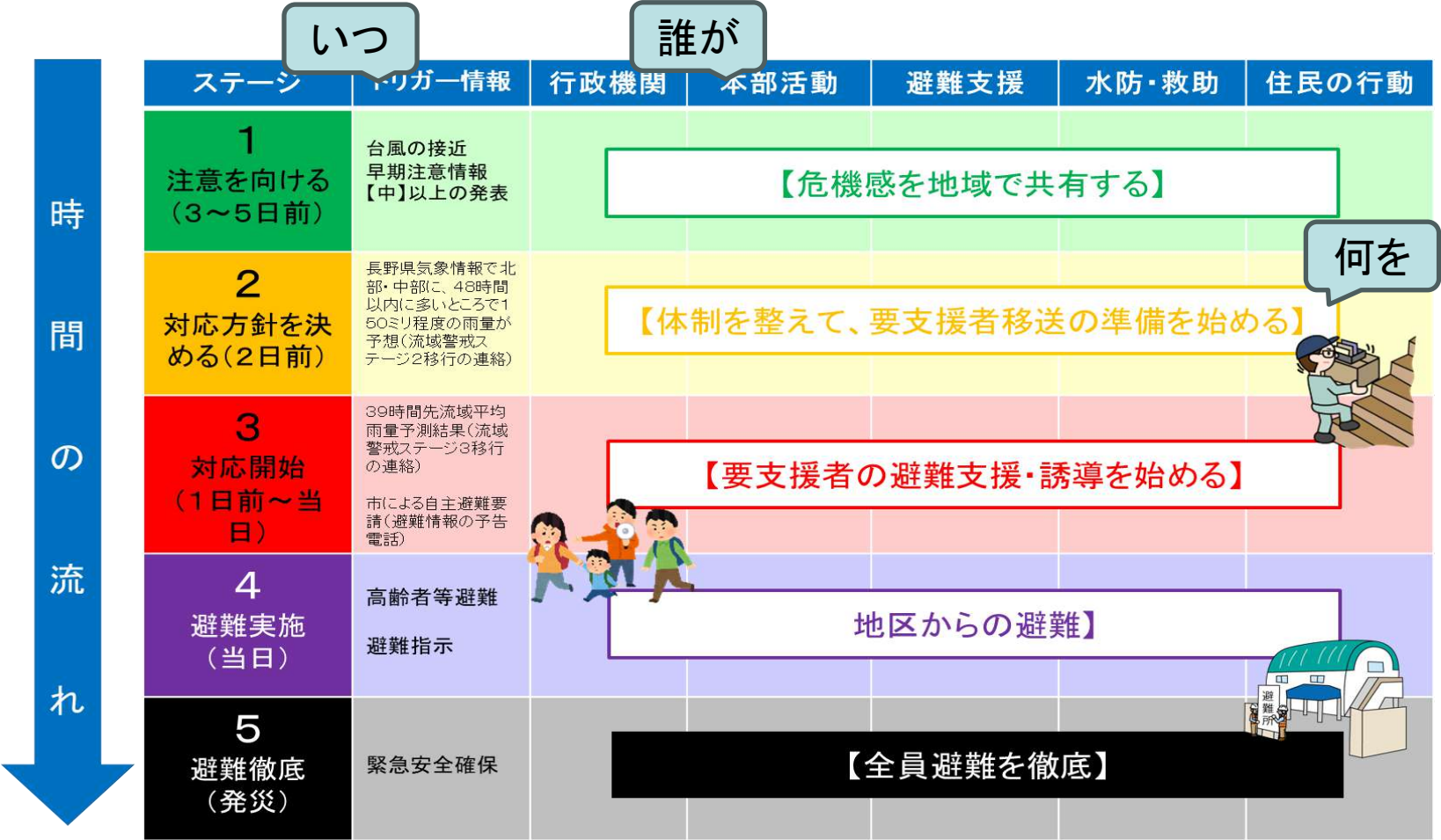
住民避難完了

<タイムライン完成後>

早め早めの行動で
「逃げ遅れゼロ」へ



■ コミュニティタイムラインのイメージ



洪水時に「いつ」「誰が」「何を」しなければならぬか時系列で整理されており、早め早めの防災行動・防災行動の漏れ・抜けの防災につながる。

5

令和元年東日本台風の被害を受けて「コミュニティタイムライン」の検討を開始
令和3年に長野市長沼地区、令和4年に須坂市北相之島地区で完成

検討のポイント

- **令和元年東日本台風時の防災行動のふりかえり**
 - 地区内で行われた防災行動をふりかえり、改善点を検討する
- **地区の災害リスクの共有**
 - 地区に影響する災害リスクを検討し避難行動の前提を共有する
- **行動内容の検討・明確化**
 - 防災行動の準備や調整、完了報告など各防災行動を明確にする

「令和元年東日本台風時に被害のあった地区」「要支援者が多くいる地区」等を中心に今後も普及を図っていき、**逃げ遅れゼロ**へ！！

[illegible]